方城公民時報
発行所　福岡県田川郡方城町　方城町公民館
編集人　松尾勲
印刷所　九州機関紙印刷所

青少年に明るい希望を

方城町の防犯対策協議会

最近青少年の犯罪が増加しつつあることは社会人の眉をひそめていることであることは暴行、脅迫、恐喝等の犯罪が増加し、はなはだしいものは三倍となっており、いずれも高校、中学生を含めての青年層に起る犯罪であるところに大きな問題を投げかけている。

その内訳は

殺人昨年九件　本年一四件
暴行〃五五件　〃八六件
強姦〃一一件　〃一七件
脅迫〃四件　〃一三件
恐喝〃四七件　〃一一〇件

であり窃盗は昨年一七五五件に対し本年一五九〇件、一六五件の減少を示している。

以上の現状にかんがみ、方城町においては十月二十日防犯対策協議会を開催し左記の対策を講じた。

(1)防犯協力者に感謝状を贈呈

(2)防犯懇談会開催

炭坑三区十一月上旬　三区集会所
後谷　十一月中旬　公民分館
野添　十二月上旬　公民分館
上弁城　十二月中旬　公民分館

(3)防犯モデル地区設定

1、弁城地区　上弁城支所
2、伊方地区　野添　支所
3、炭坑地区　五区　支所

(4)青少年防犯ソフトボール大会実施

以上の行事を決定し、防犯協力者感謝状贈呈及び青少年防犯ソフトボール大会は左記の通り実施した。

〃防犯協力者に感謝状贈呈〃

十月二十日に開催された方城町防犯協会総会において左記の方々に防犯協力者として感謝状が贈呈されました。（敬称略）

1、人命救助関係

弁城浄万寺分館　牟田々　仲村　長助
三区旭町　高崎　潜

2、防犯協力関係

三菱方城砿業所勤労課外勤係一同
二区山の手通　渡辺ユキエ
二区幸町　清水ミヤ子
後谷　桑野　等

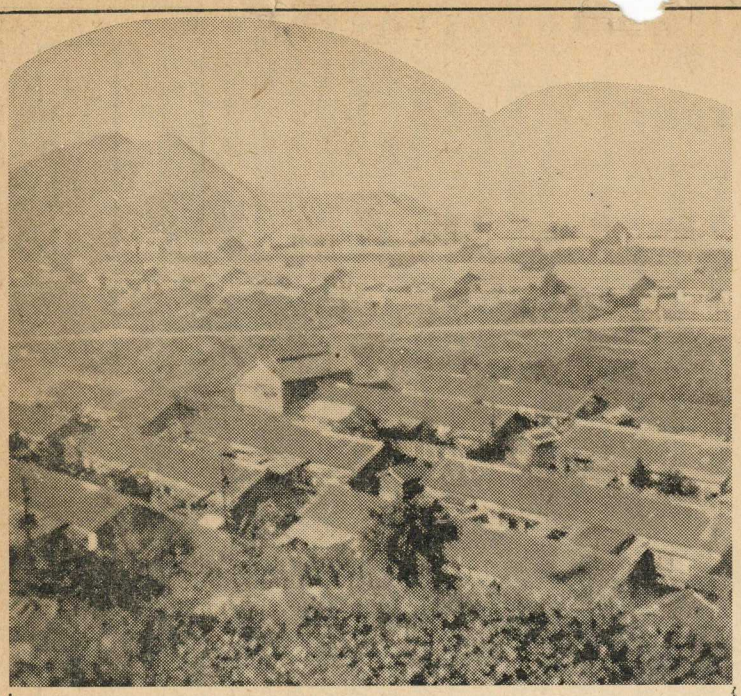
炭街の朝

一、薄墨色のもやのなかに
ピラミットの頭上がほのかに白みかゝる頃
炭街に朝がやってくる

二、静寂の一刻……
早出の足音に今日の鼓動を感じたとき
炭街に朝がやってくる

三、喜びと悲しみが
眠りの妥協の中から
ふと吾にかえったとき
炭街に朝がやってくる

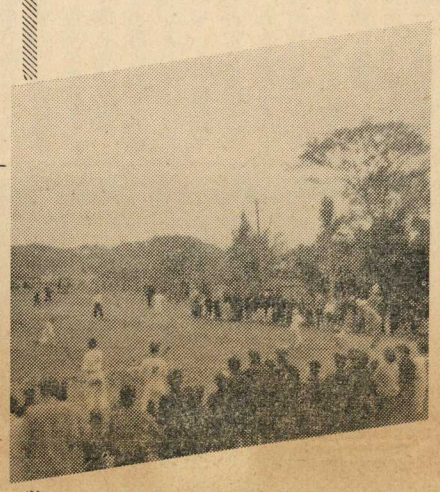
二区湧淵の丘よりボタ山を望む



冷雨をついて終始熱戦

方城町防犯協会主催　子供会対抗ソフトボール大会開かる

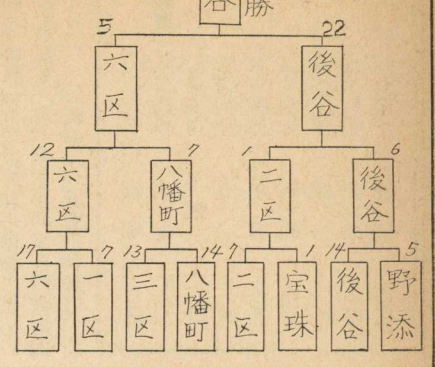
十一月二十六日午前九時半折から大会宣言、選手代表の宣誓の後、方城中学校伊方小学校グランドで、中学生三名小学生七名のチーム編成にて試合を開始した冷雨にめげない意気盛んな童心のプレイに多くの来賓や観衆も深い感銘を受け、午後四時半全試合を終了した。



◉参加した子供会チームは次の通り

春田、宝珠、畑二区、四区後谷、野添、上弁城六区、新町一区、山の手三区、五区、迫、八幡町

準々決勝以後の試合経過は右の通り　数字は得点を表す



× × ×

如何にして子供会をよりよく育てるか

方城町子供育成協議会長　永末　勇常

方城町の子供会を盛んに、しかもよりよいものに育てたいということで町内の子供会の育成委員や有志者が集って方城町子供会育成連絡協議会という会を昨年結成した。自分達はその会の会員で各子供会から一名宛選出されている理事という任務を背っているのであるところが、その腕前が誠に貧弱なので少しでも勉強して腕を磨きたい。磨かなければならないという訳で、聖地英彦山を選んで講習会を開くことになった。もっともわざわざ英彦山まで上らないでも町内でもと考えられるが、それにはやはりそれだけの理由はもっている。第一に今度の講習では子供会のハイキング等の野外活動のことについての研究がしたいということ。第二には子供会を引卒して上るであろう機会の多い英彦山についての認識を深めて置きたい等のことが考えられたからである。

つまり自分達は観光或いは行楽の客ではなく、毛色の変った恐らく今日の客中ではたった一つだけの講習会員のグループという訳だ。必要にせまられている指導者のみであるだけに受講態度は真剣そのものであった態々英彦山で講習会をもった理由に野外活動指導の研究である。高い山も深い谷もなんのその、講習が終った後考えてみればよくも高い山に登れたこと、深い谷を越えたことと思われた如何に子供の指導に責任を持っているか伺われましたこの尊い犠牲的精神あればこそ、発足して日浅い子供会が今日の段階までこぎつけたものと思われ指導者の方々に対して頭がさがります。

子供会を立派に育て上げようとうの一念こそこの熱意の源泉だと思うし、またこの尊い犠牲的精神なくては子供会は育たないであろう。

今後の研究問題

子供会の目的を達成するに都合のよい

1、組織はどうしたらよいか
2、指導課程の編成はどうしたらよいか

原稿募集

「公民時報」「町政だより」

新聞により一層の〃うるおい〃を持たせるために、写真、短歌、俳句、その他、ほほえましいニュースなど町民のみなさんの作品を気軽にお寄せ下さい。

〔作品〕どんなものでも結構です。なお、原稿に適当な写真を貼付して下さい。

〔メ切〕毎月二十日

〔送付先〕公民館「編集係」まで

〃メートル法実施の期日が迫りました〃

来年一月一日から全国一せいに

来年一月一日から全国一斉にメートル法が実施されますが、当町内の各商店でもぼつぼつ換算表を作って掲示する等、その切換えに苦心されているようです。何事でも、永い習慣から一挙に脱却するには、それ相当の工夫と勉強が必要ですので、消費者の皆さんも一日も早くメートル法を習熟していただき、単なる暗記ではなしに実感をもってメートル法になじめるよう努力しましょう。

図書〝百万人の夜〟に刺戟をうく

田川市の犯罪実例から

某高校生の告白

(その一)田川市の某所で十五才の少年を含む五名が少女に暴行し逮捕され、家庭裁判所から検察庁に送られ、現在田川署の留置場にいる者もおります。

このように青少年をむしばむ性犯罪はどのような動機や原因で起ったか、非行を悔ゆる一高校生はこう語っていた。

「百万人の夜」という本をよみ、性生活の露骨な書き方に刺戟され、それからは性に特別の興味を覚え、日夜性になやみ女性に関心を持っていました。

たまたま犯行の夜友人の高校生二人と他の少年二人の五名で、近くの広場にミシンの宣伝映画を見に行きました。その時中学時代の同級生の少女に遭い、中学時代の話からはじまり、つい誘って二人で人里離れた場所に行きました。そのあとを連れの四名も追って来ました。

そこで、女の肌に触れると急に逆上し、日ごろの性に対するなやみが爆発したのです。こんな恐ろしい結果になり、これからどうすればよいかと希望を失い…」申訳けなさにいう声は涙でくもっていた。

防犯の立場からこの事件を検討すると

夜間の女一人はけがのもと

という戒めのことばが浮き上って来るし、悪い読みものの害も軽視できないことがうなづける。

犯人は勿論、被害者自身も両親もまた防犯協会も気をつけたいことである。

〃水害見舞〃の

浄金ぞくぞく集る

関東地区の罹災者救えと

関東地区を襲った二十二号颱風のつめ跡は、未曽有の惨禍を残しました。

同地区は今その立上りに、懸命の努力を続けていますが、全国の人々からも〃罹災者を救え〃とぞくぞく温い救援の手がさしのべられています。当方城町もこの運動に伍して募金運動が進められていますが、現在までに多額の浄金や衣料品が寄せられ、関係者を感激させています。今後共宜しく御協力の程お願いします。

銘記しましょう

〃災害は忘れたころにやってきます〃

詩

想い出の夢も住む
あこがれの鶴ケ丘よ
燃える硬山夕焼に
炭坑の男の意気と意気
君の胸に私の胸に
交わすほゝ笑み希望に燃える

方城町
清見町四丁目
今仁サヨ子

農民の希いと早期栽培

見六　芦馬　生

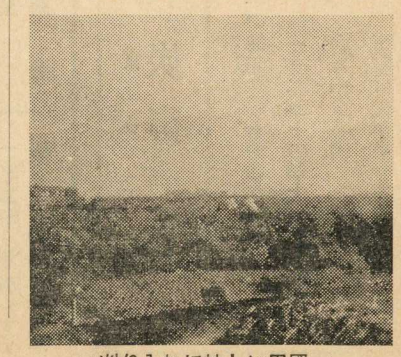
巷間近時早期栽培の必要性とその実績が注目高く評価されて来たが、そもそもその目的は如何なる理由に基くものであろうか。単的に是を表明するならば、それは台風前に安心して収穫出来るという魅力が一番大きいに相違ない。だが然し過去の実際からして早生を奨励したり晩生を奨励したりして幾度かその農法が変遷して来たことは事実である。

然してその根底に潜む農民の生活意慾が、たゞ単なる食うために作る百姓でなくて、一般社会並に生活を楽しむという本質的な人間性から生れ来たいわゆる人並の生活に追い着こうとする開眼された農民の真シな姿であり希いであるというべき結果が、こうした画期的な早期栽培法となって表れたものであろう。

われわれの悩みは深刻である。手一杯の豆、節くれ立った腕、さながら前世紀の落し子の如き肩の担いだこ、そして老人の曲った腰労苦の報いとしてはあまりにも惨めな過労による神経痛、名も知れずに土に還る幾百千万の農民の姿、こうした過去の生活の中からだ諦めと無能によって現在に及んで来たわれわれの生活をふり返って見る時、激しい憤りと言い知れぬ寂しさに胸が迫って来る。

アメリカに渡り、そして約一年学び得たものは余りにも甚しい貧富の相違により持たざる者の悲哀をいやが上にも心の奥底まで焼きつけたのみ。よしやるぞ、と力んで見たところで人間一人の力ではどうにもならない。そして結局過去の封建的な城壁の中に保守の権化となって堕してゆく自己の姿の哀れさ、これが自分がたどって来た三十七年の過去の姿である。

（次号に続く）



―刈り入れに忙しい田圃―

皆さん、ご存じですか

11月5日より 基本選挙人名簿の縦覧が始まります

皆さんの申告に基いて作製された基本選挙人名簿の縦覧が左記の日程により行われます。有権者の方は揃って閲覧し、脱漏の有無を確めましょう。

一、名簿の縦覧及び異議申立てができる期間
十一月五日から十五日間

二、縦覧の場所
方場町役場選挙管理委員会事務局

三、名簿の確定期日
十二月二十日

◉名簿の確定期日以後はこの確定した名簿に基いて選挙が行われます。

秋の体育シリーズ終る

写真は仲よし、お手々つないで、鐘のなる丘～中央保育園にて～

〝スポーツを愛好する者に悪人はいない〟といわれるが、当町も文化方城の名に恥じず秋の体育祭りが左記の日程表の通り華々しく行われた。

特に本年は野添分館、倉石坑分館が新しい体育団体として登場し、当町体育グループに一層の重厚を加えた。

方城中学校運動会（十月七日）
ぎんなん保育園運動会（十月十日）
方城小学校運動会（十月十日）
弁城小学校運動会（十月十二日）
三菱方城鉱業所運動会（十月十九日）
野添分館運動会（十月十九日）
倉石坑分館運動会（十月十九日）
中央保育園運動会（十月二十四日）
後谷分館運動会（十一月二日）

婦人学級の望ましい在り方

方城町公民館

最近婦人学級が各所に結成され、料理講習、子供の躾方等の各種講座が設けられ自己の技術を磨き高い教養を身につけ以て文化水準を高めつつあることは、誠によろこばしいことであります。

かくして教養を高めることも必要ですが、唯教えられるのでなく各人の経験を生かし、会員相互の話しあいにより自己の悩みを解決する事が婦人学級に与えられた大切な使命であります。

家庭生活をするうちには色々の悩み、色々の苦しみがあります。即ち夫、子供、姑、嫁、経済等に対する悩み、苦しみがあります。これ等の悩みを一人で解決することは容易なことではありません。五人また十人と集って相互の話し合いによって解決することが出来ます。即ち日常の生活の中から問題を見出し、相互の話し合いによって問題を解決し苦しみを転じて明朗な生活へと切替えることが明るい家庭を作る所以でありまず。家庭生活をするうちには誰しも色々の悩みを持つものであります。巨万の財を有して経済に苦しまざる者は夫のよろめき、子供の不良化に悩み、嫁姑関係の面白からざる者は家庭の不和に悩み、無計画な生活をする者は家庭経済に悩みます。

かくの如く悩みの原因を研究調査し、相互に持ちより相互に反省し、話し合いによってこれ等の悩みを解決することが婦人学級の望ましいあり方であります。

悩みを持って一人鬱々として家庭にいても解決は出来ません。この悩みを婦人学級に持ちより相互の力によって解決し明朗な家庭建設に努力しようではありませんか。

姑の方々もこの婦人学級を理解し主婦をして婦人学級に出席させて下さい。

みんな丸々元気な赤ちゃん

十月七日本町主催で赤ん坊大会をしましたところ、丸々ふとった元気な赤ちゃん多数が参加し、審査の先生達もうれしい悲鳴なにを考えているのやら泣いたり笑ったりしている赤ちゃんにくらべそばで見ているお母さん達の方が真剣で悲喜こもごもでした。

十月九日の表彰式入賞者は次の通り。

健康優良児　保護者　住所

特等賞　朝部保明　相之助　中原
広瀬たか代　知　四区

一等賞　永江昌秀　正夫　山ノ手
皿谷広子　強　一区

二等賞　中山清文　義光　春田
大屋　寿　万寿男　八幡町
早田知美　信一郎　後谷

三等賞　山口三千代　康雄　二区
久富武義　武士　久六
松井隆司　栄　二区
肱岡英介　信二　二区
原口勝男　光男　久六
迫本摩弥　茶利　四区
渡辺陽子　誠一　一区
永末裕子　元信　新町
遠藤恵子　仲文　四区

宮崎行

白石天留翁

十月三日、私は宮崎への旅をした。

まづ宮崎神宮に参拝、日本肇国の宮居、壮厳な境内、折り柄朝の出仕宮司以下七神官が威儀を正して、粛々と社務所を出づる。

出仕鼓にかぶさり打てる
巫女の秋

平和塔についで参拝、終戦前までは、八紘一宇の塔と呼んでいたこの建造物も、今では平和の象徴に改められ、名も平和塔と四方の偶像の一つ武威の神像は、ふさわしからずとして、取り除けられていた。

拍手の木霊返えしや秋日和

バスは吾等を、子供の国に運び一ト時を童心に返えらして、勝手気まゝに芝生を歩くことを許してくれた。其所には各種の遊戯機具が備えられていて、蒸鉄林あり、シャボテン、竜舌蘭の丘、或はバナナ、芭蕉林があった。

芭蕉林流るゝ秋の水浅く
バナナ林紫こゆき花落す

この子供の国から、ほど遠からぬ有名な熱帯樹の島、青島に着く、途中榕樹（熱帯植物ガジマル）のある小さな社をも教った。

榕樹の何んとか神社遠拝み

濃き秋日届かず榕榔樹林帯

島乙女榕榔笠着て汗かいて

手に取りて軽し榕榔団扇かな

日南海岸を二時間にわたりドライブする。黒潮躍る日向灘には一帆も見えぬ。ただ広々とした海を左手に眺め、シャンシャン馬の話を案内嬢から聞き、その素朴な歌詞を美声で聞く。

水成岩の奇異な海浜沿い、それは国立公園でもある。異しくも南の国に来つるものかなの感を深くする。

かくして、神武天皇誕生の地、鵜戸神社に参拝。

黒潮のかけのぼる岩荒鵜翔つ

滴りの鵜戸の洞屈賽し出づ

滴りの鵜戸の乳岩にふれもして

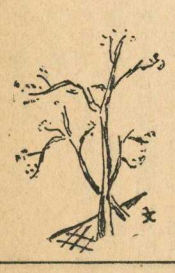
岩壁にあざみ花咲く鵜戸の秋

宿舎宮崎江南荘に夕方帰着翌日、朝の大淀川は満々と水をたゝえ、その大淀橋を通る者は都会らしくもなく稀で水辺を白鷺の番（ツガイ）らしいのが、二羽悠々と遊んでいる。

朝涼や大淀川の大淀橋

ヒツジ田の草除る鍬を夫婦かな

註「ヒツジ田とは稲を刈った刈り株から芽が出ている田のこと」



子供のあたま

園田真人

小児科の弟子は自然と子ぼんのう。

明治九年、長谷川というお医者さんが、今の小児科という独立した科をつくってより、子供だけを専門に診察することがはじまったのである。

そらセキをした。ネツが出たと、私たちは子供の健康については大さわぎするようだが……

とはいいながら、パリッとしたお母さん方が、その娘や息子たちに汚れた服をきせ、ハナはたれながし髪はボウボウという恰好で診察室にあらわれ、心ある医者たちをして、なげかしめるのでもある。

この反対に、子供はキチンとしているが、お母さんは厦素であるという場合は、まことに気持のよいものである。

ともあれ、こうした子供への愛情の一番よくあらわれるのは、髪の毛の状態であるといってもいすぎでない。

いやいや……

親父の散髪代もコト欠きお母さんのパーマ代もやっとかっとだのに、子供の頭まで到底手がまわりませんよ……人口問題も切実ですからね、とおっしゃるならば。

親父は散髪を、お母さんはパーマを節約して、子供の髪を美しくと申しあげたい。

オロスということは、簡単な技術かもしれないが、その中に含まれる精神的な面は重大である。

子供はあくまでも大切な命なのである。

これが簡単にやられるということは、母親のダラクではなかろうか。

大切な母性愛にヒビが入っている昨今、わびしいことが多い。

話がとんだところにそれたが、ともかく、子供は大切に育てたいものである。

〔診療所長・医学博士〕

九・十月の婦人学級メモ

一区　九月十日
1、町長を囲んで一町政懇談会

二区　九月十七日
1、町長を囲んで一町政懇談会
2、廃物利用の展示会

五区　九月十九日
1、子供のしつけ方について

三区　九月二十日
1、町長を囲んで一南米より帰りて
2、婦人学級の将来のあり方について

三区　十月二十五日
1、歌の練習
2、幻燈会

五区　十月二十七日
1、町長を囲んで一南米より帰りて、町政について
2、歌の練習
3、幻燈会

西古門　十月二十八日
1、料理講習会
2、歌の練習

全町　九月二十七日（於）農業会館
1、婦人学級の運営について
2、歌の練習
3、映写会

三区　九月三十日
1、町長を囲んで一南米より帰りて
2、婦人学級の将来のあり方について

写真は西古門婦人学級料理講習会
指導するは宮本普及員